

久御山「まちのにわ」構想」

■ 久御山「まちのにわ」構想について

「久御山中央公園」及び「クロスピアくみやま」を活用して、「食」戦略に基づいた住×農×工の交流を促すためのビジョンとして、2019年2月に久御山町と京都大学 山口准教授によって「久御山“まちのにわ”構想」が策定されました。

本構想では、住「憩いと食が楽しめる魅力的な住環境づくり」・農「農業を知り、学び、体験できる環境づくり」・工「地産地食による健康な就業環境づくり」のそれぞれの環境づくりを計画しています。

■ 長期目標(目指すまちの将来像)

住
農
工

① 高性能の住宅と生活環境が整った職住近接の豊かな暮らし

- ・高性能、高品質な住宅の供給により快適な居住環境が整っていること
- ・日常生活に彩りを与える豊かな公共空間や遊びの場があること
- ・住み続けたいと思う愛着が生まれる環境であること

② 高いブランド力により高単価で取引される農産物と地域の暮らしと連携した力強い農業

- ・久御山野菜の認知が向上し、ブランド力を持つことで販路が拡大すること
- ・単価が上がることで高効率で持続的な産業となること
- ・地域住民の暮らしと関わることで、町への愛着や誇りにつながること

③ 就業環境（創業環境）が整った新時代の選ばれる工業地帯であること

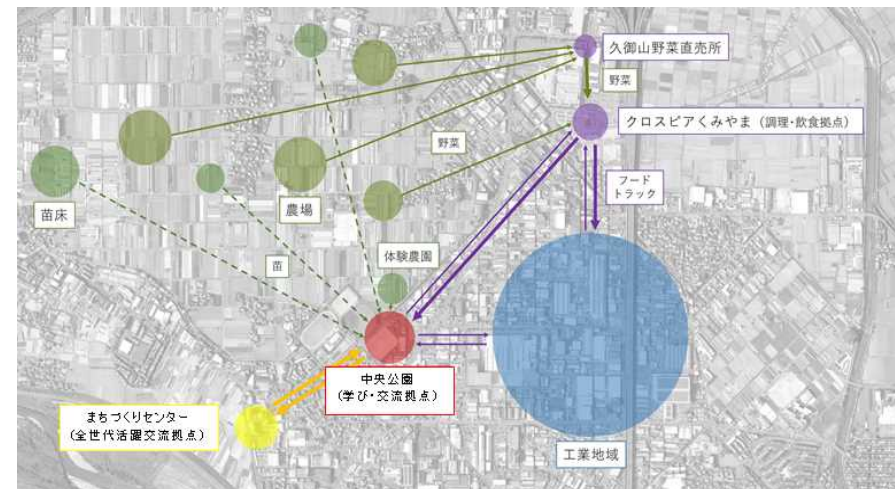
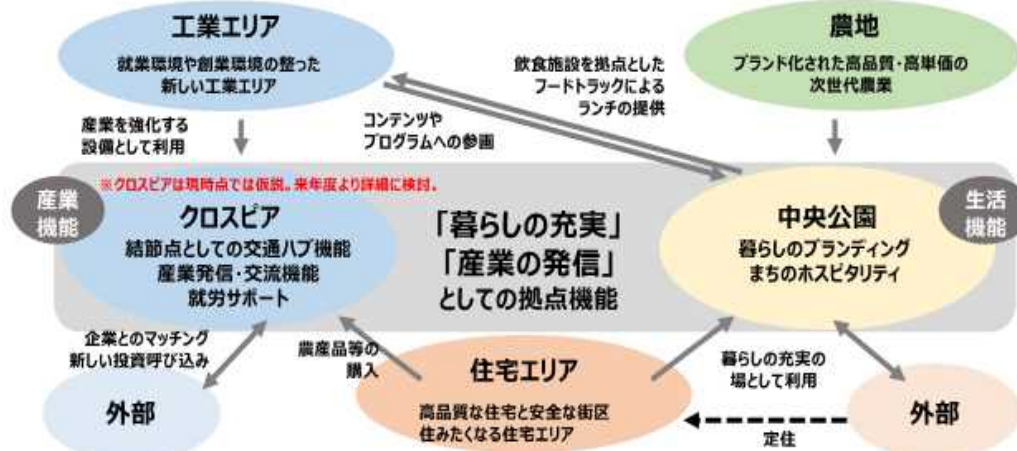
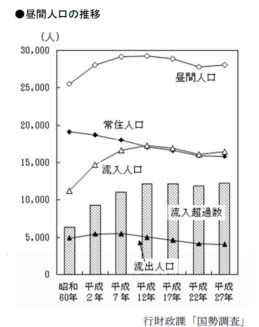
- ・既存企業の就業環境が向上し、従業員の満足度が向上すること
- ・快適な就業環境により久御山町の企業への就職希望者が増加すること
- ・業務以外のレクリエーションや福利厚生によって従業員の生活の質が向上すること

久御山町は、京都市の中心部から南へ15キロ、山城盆地の南西部に位置し、北と西は京都市、東は宇治市、南は城陽市、南西は八幡市に接しています。

土地は、町南端の佐山が一番高い位置にあり、町北東部の巨椋池干拓田のあたりがもっとも低く、南から北へゆるやかに傾斜しています。

○ 役場の位置

- 京都府久世郡久御山町島田ミズノ 38番地
- 東経 135度 43分 6秒 北緯 34度 52分 53秒
- 総面積 13.86平方キロ
- 町域 東西 3.5キロ 南北 4.3キロ
- 極端 東端 栄1・2丁目 南端 佐山
- 西端 大橋辺 北端 東一口



※まちのにわ構想の中で、久御山中央公園は「学び・交流の拠点」として位置付けられ、「住・農・工」のハブとしての役割が想定されています。